

# 乗用型摘採機搭載型薬剤散布装置による 輪斑病の整枝同時防除

## [研究のねらい]

- ・輪斑病対策として摘採、整枝直後の薬剤散布による防除効果が高いことが明らかになっている。しかし、「防除規制」や「摘採時期の多忙」などにより実施には困難が伴う。
- ・このため、乗用型摘採機に搭載できる薬剤散布装置により、摘採1週間～10日後に行う整枝(ならし)と殺菌剤散布を同時に実施することで、省力的で効率的な輪斑病防除を行う装置を開発する。

## [研究の成果]

- ・整枝と防除を同時に行うことで労力が軽減された。
- ・価格の安い予防剤(保護剤)でも十分な防除効果が得られた(図1)。
- ・通常の噴口であれば、通常薬量(200L/10a)の1/4(50L/10a)でも、十分な防除効果が得られた(図1)。
- ・炭疽病防除の散布機としても活用できる。ただし薬液量を100L/10aに減らすと効果が落ちるので、通常の散布量で実施することが望まれる(図2)。



写真 乗用型摘採機搭載型薬剤散布装置  
(株式会社寺田製作所製)

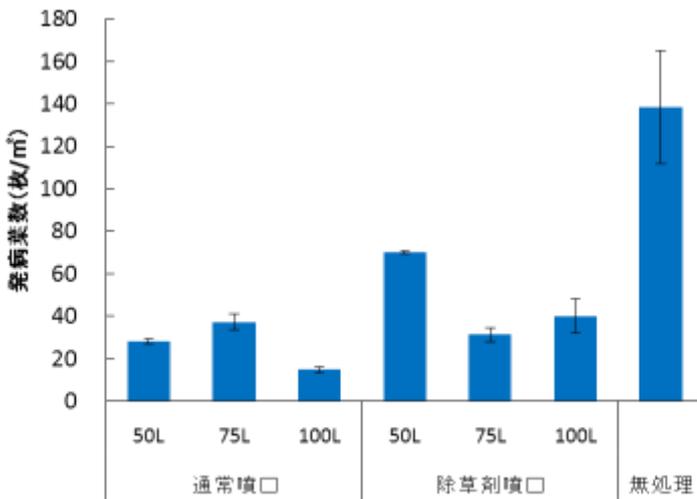


図1 乗用型摘採機搭載型薬剤散布装置の噴口、散布量の違いによる輪斑病に対する防除効果

\* 薬散：2016年8月10、17日 調査9月7、14日  
使用薬剤：ダコニール1000 (TPN40%) 1000倍

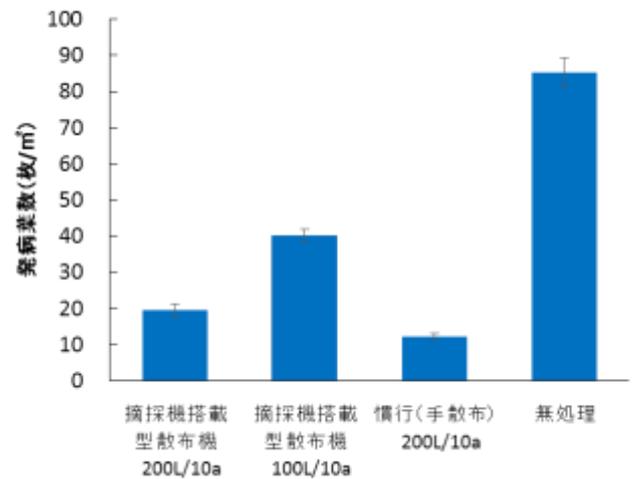


図2 乗用型摘採機搭載型薬剤散布装置の散布量の違いによる炭疽病に対する防除効果

\* 薬散：2018年7月18、27日 調査8月10、20日  
使用薬剤：ダコニール1000 (TPN40%) 1000倍